

# 公共図書館の選書における事前選定の実態分析 - 図書館流通センターとの関係を通して -

An Analysis on Pre-selection of Public Library Book Selection :In Collaboration with TRC Library Service Inc

木下朋美\*, 岡部晋典\*\*

Tomomi KINOSHITA\*, Yukinori OKABE\*\*

\*pinoki26@slis.tsukuba.ac.jp, \*\*yuki.okabe@gmail.com (\*@Kinopichi, \*\*@yuki\_o)

\*筑波大学大学院図書館情報メディア研究科, \*\*千里金蘭大学現代社会学部

\*Graduate School of Library, Information and Media Studies, University of Tsukuba

\*\*Department of Contemporary Social Studies, Senri Kinran University

## あらまし

本研究では、インタビュー調査によって図書館流通センター(以下TRC)の事前選定の実態分析を行い、TRCの選定と公共図書館の選書の関係性を検討した

- 選書論の現状 ①理論としての選書と現場の選書の実態の乖離  
②「選書論」から「蔵書構成論」「コレクション形成論」への変化
- 「選書論は行き詰っている」との一部の声も...

そこで

図書館の外側で起きている「選定」に着目

- 書籍が生まれる時点ですでに「書籍にするかしないか」の選定が行われている
- 図書館が選書に用いている情報源にも事前に様々な選定が行われている  
⇒ 以上のような選定も含めて検討することで、選書論に新しい展開が見えるのでは？  
⇒ 今回はTRCにおける選定に関する調査検討: 図書館向けの情報サービス業者の一例として

調査の結果

- TRCの意図が図書館に対して(ところによっては)逆効果になってしまっている
- TRCの新刊案内が公共図書館の選書に対するアーキテクチャ(環境管理型権力)となりつつある可能性

## TRCとは?



- 1979年: 日本図書館協会の整理事業部の業務を継承する形で設立
- 2010年6月04日現在  
主業務: TRC MARCと図書館向けの整備済み図書の販売  
図書館運営サポート など  
TRC MARCを採用している日本の公共図書館数は2,975館  
※2009年時点での日本の公共図書館数は3,164館
- 新刊週刊全点案内(以下、新刊案内)  
⇒ TRCが図書館に提供している、図書館に特化した新刊書籍の情報(書誌情報や書籍の内容紹介等)を掲載した書誌情報誌  
新刊急行ベル) 図書館に人気のある図書を事前に選定し、受注した図書館へ自動的に納品するシステム  
ストック・ブックス) 図書の納品に関して刊行後の一定期間、一定の部数を在庫として確保しておき、図書館からの受注に応じて発送するシステム  
新継続) 1度申し込むだけで逐次刊行物・定期刊行物を刊行の都度、図書館に自動で届けるシステム

http://datablog.trc.co.jp/2007/01/ より画像引用

## 問題意識

【出発点】日本の公共図書館の多くがTRCの選書ツールを何らかの形で利用している

TRCの新刊案内で、公共図書館の選書の大部分がサポートできるとTRCは捉えている?



TRCはどんな意図で図書館に本を送り出しているのか?

TRCの新刊案内は公共図書館にとってどんな存在?

選書に用いる新刊案内が図書館のなかでどのような機能を持つのか見たい!  
新刊案内依存による選書能力の不足? 新刊案内の存在による「環境管理型権力」?  
→TRCと図書館にそれぞれインタビューしてみよう!

## TRCと、図書館への調査からの発見

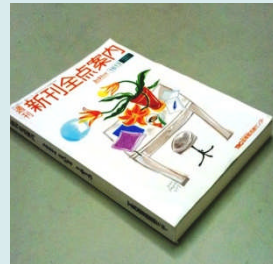
TRC: 図書館のことを考えてMARCと新刊案内を作成していると主張

内容紹介を例にとると...

新刊案内って全点載ってるからそうすると、長い文章だと読まなきゃいけない

1週間に1000冊も載ってる新刊案内、それ全部読んでたらへとへとになりますよね

コンパクトにわかるようにしてあげようっていうことで、そういう(100文字程度の)内容紹介を入れてます。



※インタビューより抜粋

TRCの意図と図書館からの要望との間に齟齬、あるいは+αの要望が生じている部分があぶり出された

図書館: TRCに対する要望が存在

筆者(木下)が2008年度群馬大学社会情報学部卒業論文で行った調査(群馬県内公共図書館全38館中37館)  
⇒ 群馬県内の公共図書館に、選書をする際の問題点を質問(訪問面接法によるアンケート調査)



数行の内容紹介では内容が把握しきれない

新刊案内のみだと内容が把握しきれない



(カタログだと内容の詳細がわからないから)中身を見て吟味したい

●100文字程度よりもっと長い内容紹介がほしい  
(TRCのねらいと相反する要望)

●実物入手して中身を吟味したいが、それを行う時間はない  
(TRCのねらい+αの要望)

※いずれもTRC新刊案内を利用している図書館の声

「図書館のために事業を行っている」TRCの意図が、新刊案内の実際の使われ方によっては活かされていない公共図書館もあるのでは?

## まとめ

- 図書館の選書は各館の裁量で行われるため、現代の選書についての理論化・一般化は困難とされているが...  
- 公共図書館のTRC MARC及び新刊案内の採用館数は非常に多い  
- 新刊急行ベルや新継続によって「図書館に必要とされる書籍」は自動的に納品され、ストック・ブックスによって図書館独自の選書が出来るTRCはいう(インタビューより)
- それでも、新刊案内だけから選書を行うことで、図書館の選書環境はある程度規定される
- TRCの新刊案内をどう「使うか」?  
- 主体的選書の時間の確保に使うか・主体的選書をほぼ放棄するか  
⇒ 公共図書館がたとえ主体的選書を行っているとしても自己認識していても、TRCの新刊案内が選書のアーキテクチャとなっている可能性が示唆される

## 今後の課題

- 内容紹介以外の部分では今回の調査でみられたような状態(TRCの意図が図書館によっては生かされていない状態)はあるのか・他県他地域の図書館ではどうなのか
- ストック・ブックスの選定を行っている人へのインタビュー

## TRCへの調査における発言(抜粋)

TRC:「自動的に図書館に本が納品される新刊急行ベルは、図書館の選書の自由を奪うものだ!」という外部からの批判に対して反論



(新刊急行ベルを)時々勘違いして、TRCは選書権を奪うんだなんておっしゃってる人が多いんですけども大いなる勘違いで(笑)

このページに載っているの(書籍)は自動的に入ってくるから、選書の時間が短縮できるじゃないですか、コスト削減できるじゃないですか

インタビュー内の「選書代行」という言葉に反応



今まで聞いていただいた中で選書の代行というのは一切やっていない

新刊急行ベルは近いといえば近いけど、コアなところを揃えてるだけあって、「コースに入ってください、便利ですよね」と言っているだけ

...まあ、なかなか難しい

TRCの将来的なねらいとは...???

## そのほかにTRCへの調査から得られた発見・証言

ストック・ブックスへ掲載する書籍の選定 ⇒ その書籍を仕入れるか/仕入れないか&何部入れるか

- 選定するのは仕入れ部の人間が6名体制で行っている
- それぞれが担当のジャンルを持ち、過去の図書館に対する売り上げデータと経験と勘を頼りに1冊につき平均3分で決定する
- 研修は行われない
- 必要な適性: 高い知識/物事を知っていること/柔軟な発想や思考を持っていること/世の中の流れを読むこと

出版点数の膨大さという原因や背景を踏まえたとしても、全国で大量に利用されているサービスに関する決定を、わずか1人が1冊3分という短い時間で行っている!

### 【参考文献】

- 現代の図書選択理論. 図書館学会年報. 1990, Vol.36, No.1, p.36.  
安井一徳. 図書館は本をどう選ぶか. 勁草書房, 2006, 169p. (図書館の現場5).  
河井弘志. アメリカにおける図書選択論の学説史的研究. 日本図書館協会, 1987, 483p.  
山本昭和. 公共図書館の理論的発展. 図書館界, Vol.53, No.3.  
木下朋美. 群馬県内の公共図書館における図書資料選択-理論と実践の比較-. 群馬大学, 2009, 86p. 卒業論文.  
株式会社図書館流通センター. http://www.trc.co.jp/index.html, (2010-05-24参照)  
国立国会図書館. 「納本される出版物とその納入率」. 国立国会図書館. 2008-9-22. http://www.ndl.go.jp/jp/service/event/pdf/nouhon\_slide\_01.pdf, (2010-05-29参照).  
石井昭, 堀渡, 沢辺均. TRC・図書館流通センターはなにを考えているのか[インタビュー]図書館をサポートする仕事. ず・ぼん, 2005, No.11, p.16-39.  
濱野智史. アーキテクチャの生態系. NTT出版, 2008, 351p.